

たくさん学んだカルガリー研修

多賀悠希那

私はこの8日間の研修を終えて、まず英語の力がとても上達したと思います。今回は2回目の研修だったので、相手が何を伝えたいのか、何を話したいのかが以前よりよく分かりました。ホストが話す英語の中から、分かる英語を2つか3つ見つけ、それをつなげて文を作って答えたり、まったく意味が分からないと、ジェスチャーを使って話してくれたので、ホストとうまくコミュニケーションをとることが出来ました。

また、私がホストに質問すると、分かりやすい英語を使って、答えてくれたりもしました。私がサマータイムのことを質問した時は、相手にうまく伝わらず迷ってしまいましたが、ホストがいろいろな方法で私の質問に答えようとしてくれたので、とても嬉しかったです。

ホストファミリーの皆さん、私の質問に答えようとしてくださったり、やさしく声をかけてくださったので、前よりも少し何を話しているのかがわかるようになりました。一週間、有難うございました。

今思うと、こんなに英語が分かるようになったのは、前の研修は3人でホームステイしたから、いろいろ相談したり、頼ったりしてしまったりしていたけど、今回は自分ひとりでホストと向き合うことが出来たから、より、相手が伝えたいことがわかったのだと思います。

また、この7日間の中で、嬉しかったこと、楽しかったこと、おもしろかったことなど、いろいろな思い出がありました。その中で、私の一番の思い出はホストの子エイミーに習字を教えてあげた事です。エイミーが自分の名前や家族の名前を漢字にして欲しいといっていたので、「絵井美」と漢字に直してあげたらとても喜んでくれました。

その次の日も紙を見て何回も練習して楽しんでくれたので、とても心に残りました。また平日の楽しみはバスに乗って学校の子と話したり、遊びながら楽しく学校に行くことです。エイミーの友達ともとても仲良くなり、毎朝会うのがとても楽しみでした。エイミーに紹介してもらった友達に名刺を渡すと、とても喜んで笑顔になってくれるので、私も嬉しくなり、早くみんなとなじみたいと心から思いました。

嬉しかった事は、ホームステイをするにつれて、ホストが何を言っているのかよく分かるようになり、"Yes." "No."と、はっきり答えられるようになった自分や、自分から「これは何？」と指差しながら、ジェスチャーを使って、質問が出来るようになったことです。やっぱり英語と親しむことが大切だなと感じました。

楽しかったことは農場訪問です。初めて鶏に触ったり、馬に乗ったり、えさの干草の上に上るなど、たくさんの貴重な体験が出来て、とても楽しかったです。特に鶏に触ったのが心に残りました。今までに私は鶏に触るのが怖くて、なかなか触れなかったけど、勇気

を出して触ってみたら、おとなしくて、とても可愛かったです。また馬に乗って、とても気持ちよかったです。

おもしろかったことは、ホストに新しい鬼ごっこを覚えてもらったことです。日本の遊びもおもしろいけど、カナダの遊びもおもしろくて、どちらもいいなと思いました。

また、ホストファミリーのお母さんにフリーセールというトランプの遊びを覚えてもらいました。ルールがとてもおもしろくてはまってしまいました。だから、鬼ごっこやトランプゲームなど、日本ではあまり知られていない遊びを日本の友達や家族に教えてあげたいと思います。

ホームステイ中に自分の伝えたいことがなかなか分かってもらえず、とても苦しくなる時がありました。でも、物を見せたり、ジェスチャーを使いながら会話をすると、分かりやすく、より詳しく分かり合えることが出来たので、ジェスチャーを使って話すことはとても大切だなと思いました。

ホストと過ごす最後の夜に、日本食（いなり寿司）を作ってくれました。するとホストは私が作るのを見て、不思議そうな顔をしていたので、すごく珍しいんだなと思いました。ホストにたべてもらおうと、"Good."と言って全部食べてくれたので、一生懸命作った甲斐があったなと思いました。

その後お土産をもらいました。その中で、一番嬉しかったのは、ホームステイ中に私とホストと友達で撮った写真をまとめたアルバムです。そこにはたくさんの思い出が詰まっているので大切にしたいです。

もうホストとは別れてしまったけど、ホストのことを忘れずに、手紙を出したりして交流していきたいと思います。

